

KATOのNETIS登録技術 2面領域制限機能付きクレーン

NETIS登録番号:KT-240013-A

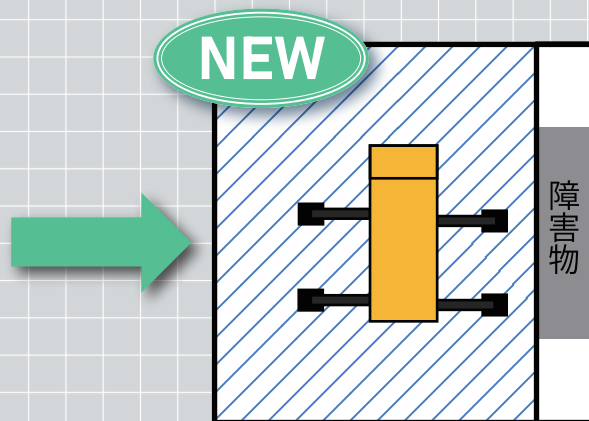
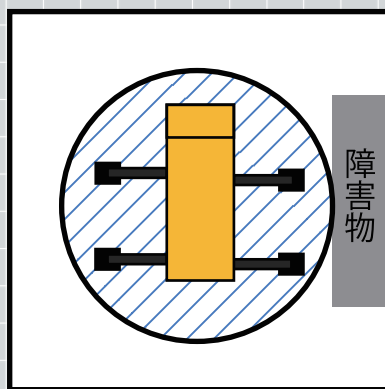
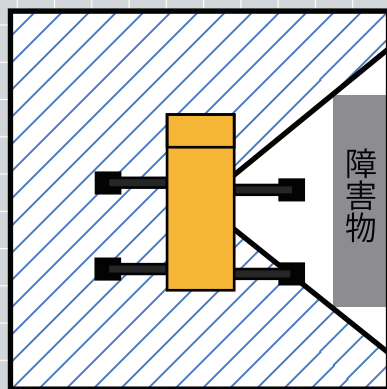


領域制限機能は、任意の2点を結ぶ直線の外側を危険領域として設定して動作を制限する機能です。危険領域を面で設定することで建物等の障害物への接触や鉄道・電力施設等の危険区域への侵入を防止できます。

また、従来の作業範囲制限機能と組み合わせることで効率的な制限領域の設定が可能です。 ※領域は同時に2面まで設定可能

従来技術との比較

従来の旋回制限や半径制限に加えて領域制限による面での制限が可能となり、安全性・施工性が向上しました。



安全性
向上

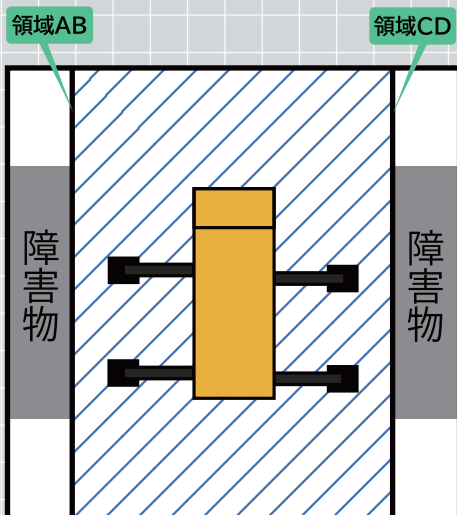
面での制限により障害物への接触や危険区域への侵入を容易に防止可能

施行性
向上

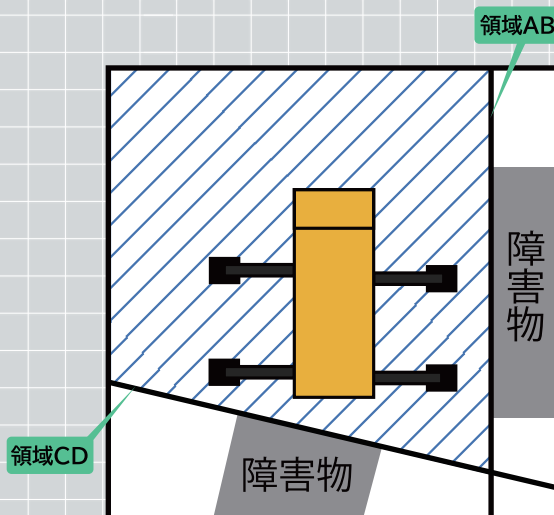
従来の作業範囲制限機能と組み合わせることで無駄なスペースが少なく効率的に制限設定が可能

2面領域制限機能

両側に障害物がある場所やL字のように障害物がある場所では制限領域を2面に設定することで安全に作業が出来ます。



両側に障害物がある場合



L字に障害物がある場合

搭載機種



MR

シリーズ

- MR-130RiM ● MR-130Ri ● MR-130RfM ● MR-130Rf
- MR-130RfII M ● MR-130RfII ● MR-200Ri ● MR-200Rf
- MR-250Rf ● MR-350Ri ● MR-350RfII

SR

シリーズ

- SR-250Ri ● SR-250Rf ● SR-250RfII

SL

シリーズ

- SL-500Rf ● SL-500RfII ● SL-500RfIII
- SL-600RfII ● SL-600RfIII ● SL-750RfII
- SL-800Ri ● SL-850Rf ● SL-850RfII

KA

シリーズ

- KA-1100R ● KA-1300R

※新規開発機種は随時搭載予定

NETIS登録技術の活用で

工事成績評定に加点!

公共工事に有利です!!

総合評価落札方式での加点

総合評価落札方式で【2面領域制限機能付きクレーン】の活用を提案した場合、加点の対象になります。

(注：加点の方法は提案を行った地方整備局等によって異なります)

工事成績評定における加点

公共工事において、施工時に【2面領域制限機能付きクレーン】の活用を提案すれば工事成績評定で加点の対象になります。また、次回以降の入札において、落札が有利となる評価につながります。



詳しくは、NETISウェブサイトでご覧下さい。

NETIS 2面領域制限機能付きクレーン

検索



ホームページ

kato-works.co.jp



/ KATO WORKS OFFICIAL
youtube.com/user/katowork



Instagram

instagram.com/kato_works_official/



- 本カタログ記載の装備・仕様等は、掲載機種に主に標準搭載されているものです。他仕様、オプション等についてはお問い合わせください。
- 本機の使用にあたっての注意事項は、取扱説明書をよく読んで正しくお使い下さい。●本カタログの写真ならびに装備は、改良などによりお届けします製品と異なる場合があります。
- また、仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。●ボディカラーおよび内装色は、撮影や印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
- 本カタログで使用する「KATO」、「ラフター」、当社商品名、サービス名は、株式会社加藤製作所の商標、または登録商標です。

●お問合せ：

KATO

株式
会社

加藤製作所

本 社 / ☎140-0011 東京都品川区東大井1丁目9番37号
☎ 03 (3458) 1111 番 (大代表)